



## 石塚会長記者会見

### 〔「Society 5.0」の実現に向けたJEITAの取り組みを発信）

2020年12月16日に石塚茂樹会長による記者会見をオンラインで開催し、「電子情報産業の世界生産見通し」など、各種取り組みに関する発表が行われました。119名の報道関係者にご参加いただき、その内容は報道各社によって広く社会に発信されました。



#### 【発表内容のハイライト】

#### 2020年の振り返り

はじめに、新型コロナウイルス感染症によりお亡くなりになられた方に哀悼の意を表するとともに、現在も最前線に対応にあたられている医療従事者の皆様、そして社会インフラを支えるすべての関係者の皆様に改めて敬意を表し、深く感謝申し上げます。

2020年を振り返りますと、新型コロナウイルス感染症により、人々の暮らしや働き方など、社会全体が大きな変革を迫られた1年となりました。あらゆる場面でデジタル技術の活用が一気に進展し、劇的な変化が生まれています。

JEITAの事業活動も例外ではありません。私どもが主催する展示会である「CEATEC」ならびに「Inter BEE」は、今年初めてのオンライン開催に踏み切りました。新たな取り組みということもあり、ご迷惑をお掛けした点もございましたが、多数のご出展、またご参加をいただき、さまざまな発見や学びのある、実りの多い機会となりました。ご高配を賜った皆様に厚く御礼申し上げます。現在、オンデマンド形式にて一般公開していますので、ぜひ引き続きご活用ください。

また、ニューノーマル時代に適応する、JEITA事務局の働き方改革にも取り組んでいます。具体的には、本日オ

ンライン記者会見を実施しています「JEITAスタジオ」の新設、そして、10年ぶりのオフィス改装を敢行し、フリーアドレス型のオフィスに生まれ変わらせます。これまで業界団体の活動というものは「対面が基本」でしたが、業界活動や職員の働き方も「リモート」が主体となりました。理事会をはじめとする数千回の会議・講演会のオンライン開催、職員のテレワーク推進、ペーパーレス化の促進など、デジタル技術を活用した業務改革を進めています。いまや事務局職員の出社率は3割を切っています。アフターコロナにおいても、このデジタル化の流れは変わらないという認識のもと、ニューノーマルにおける経営基盤の改革として、本部事務所の面積半減と、デジタル対応設備導入のためのリノベーションを実施してまいります。

先行きの不透明感や目に見えない不安が社会を覆っている現状ではありますが、経済成長と課題解決を両立する豊かな社会の実現に向けて、今後も感染拡大防止のため、リアルとリモートをバランス良く融合させた取り組みを加速させていかねばなりません。電子部品やデバイス、電子機器やITソリューションを中核として、他の製造業やサービス業などあらゆる業種の企業が集う「Society 5.0の実現を支える業界団体」であるJEITAは、ニューノーマルを支えるデジタルトランスフォーメーションの担い手として、その責務を果たしていきたいと考えています。

#### 業界動向(電子情報産業の世界生産見通し)

JEITAの中核である電子情報産業の、今年ならびに来年の世界生産見通しについて、ご説明させていただきます。本調査は、世界の電子情報産業の生産規模をデータによって明らかにするとともに、世界における日系企業の位置づけを把握することを目的としています。会員各社を対象としたアンケート調査をベースに、国内外の関連企業・団体